

軍事 核使用も辞さず

日米共同声明は、「日米同盟」の項の冒頭で“核軍事力による日本防衛”をうたいました。核使用も辞さないという方針。世界で広がる「核兵器のない世界」への動きに逆行するものです。

沖縄基地 民意踏みにじる

沖縄・辺野古への米軍新基地について、「唯一の解決策」として推進することを確認。「日米同盟」のためと、県民が繰り返し示した民意を踏みにじることは絶対に許されません。

日米首脳会談では、世界から見ても異常な対米追随ぶりが示されました。

対米追従いっそう深化

経済 TPP以上に影響深刻

共同声明は、TPPの離脱を踏まえ、「日米間で2国間の枠組みに関して議論を行う」としました。あらゆる分野でTPP交渉以上に譲歩を重ね、日本経済に深刻な影響を及ぼしかねません。

安保条約廃棄し、友好条約結ぼう

トランプ追随を進めるなら、矛盾が深刻になることは明らか。対米従属の根っこにある日米安保条約を廃棄し、それに代わって日米友好条約を締結することにこそ、対等・平等・友好に立った21世紀の日米関係の未来があります。

ドイツ メルケル首相	「特定の地域の出身者や特定の信仰を持つ人たちすべてを疑いの目で見ることは正当化できない」
フランス オランド大統領	「難民保護の原則を守らなければ、民主主義を守ることができない」
イギリス メイ首相	「イギリス政府は、はっきりと誤りであるという立場をとっている。あのような政策は対立を生み、間違っている」
カナダ トルドー首相	「信仰に関係なく、カナダは迫害、テロ、戦争から逃れた人々を歓迎する。多様性はわが国の強み」

入国禁止令

世界が批判／審判「コメント控える」

首脳会談は、トランプ大統領の7カ国市民などに対する入国禁止令に、米国内外から厳しい批判が集中しているさなかに

「自分の見解のべられない国」

ところが安倍首相は首脳会談後の記者会見で、質問を受けていないのに、「コメントは差し控えたい」とわざわざ発言しました。「日本が対米隷属を優先し、いかに自分の見解を述べられない国であることを証明した」という指摘も。こんな従属、いいのでしょうか。

「へつらい」(米タイム誌)

トランプ政権にしがみつく安倍首相

食事にゴルフ、移動も一緒と気持ち悪いほどべったりのトランプ大統領と安倍首相。首相の「トランプへつらい」ぶりにはアメリカでも厳しい目が注がれています。

- 「これだけ米大統領におべっかを使う外国の首脳は、今まで見たことがない」(米ニュース専門放送局・MSNBCのアナリスト、デビッド・コーン氏)
- 「安倍首相はトランプ大統領の心をつかむ方法を示した。へつらいである」(米タイム誌〈電子版〉10日付)
- 首脳会談で「安倍首相は億万長者のビジネスマンにおべっかを使いながら、米国の“ますます強くなること”を歓迎すると語った」(ワシントン・ポスト紙)

